

## 「ありがとう」をおしえあおうね

坂口 凜さかぐち りん

これまで、たくさんはいていたくつつしたが、やぶれてしまいました。そのくつつしたを、ママはなにもいわずに、ぽいっとごみばこにすてました。「あれ、なにもいわないの。」と、わたしはおもいました。だから、

「ママ、ありがとうって、いってすてないと、くつつしがかなしむよ。おせわになったでしよう。」

と、わたしはママにいました。わたしのことばをきいて、ママは、めをまんまるにおおきくして、びっくりしていました。

「りんちゃん、そうだね。おせわになったもんね。」

ママは、そういうながら、びっくりのまんまるめを、にっこりのめにかえました。

「えらいね。そんなこと、だれにおしえてもらったの、すてきだね。」

と、わたしをほめてくれました。

「りんちゃん、おしえてくれてありがとう。」

わたしは、ほめられるとも、おれいといわれるとも、おもっていなかったから、びっくりしました。きつとわたしのめも、まんまるのびっくりめに、なっていたとおもいます。でも、ほめてもらえて、こころがふわふわになりました。

「ものをすてるときにおれいいうこと、だれにおしえてもらったのかな。」と、わたしは、かんがえてみました。がっこうのせんせいかな、おともだちかな、いっぱいかんがえました。でも、おもいつきませんでした。「ありがとう。」を、しぜんにいえたんだと、わたしは、きがうきました。なんだかおねえさんになったようです。「ありがとうがいえるってすてきだね。」と、おもいました。

つぎに、「ありがとうって、だれにおしえてもらったのかな。」と、かんがえてみました。そしたら、すぐにわかりました。

「だれかに、なにかをしてもらったら、ありがとうって、いおうね。」

と、わたしがちいさいときから、ママがなんかいいも、おしえてくれたからです。「ママがわたしに、ありがとうのきもちをおしえてくれたんだ。」と、きがうきました。

でも、こんかいは、わたしがママに、「ありがとう。」のたいせつさをおしえてあげることができました。

ママ、わたしに「ありがとう。」を、おしえてくれてありがとう。わたしも、ママに「ありがとう。」をおしえてあげられて、うれしかったよ。これからも、いっしょに、たくさん「ありがとう。」をおしえあおうね。

## 評価のポイント

「ありがとう」の大切さを親子で教えあう姿に考えさせられました。大人子ども関わらず多くの人に読んでほしい作品です。